

桜谷軽便鉄道の車両たち 2015

在籍車両一覧（2015年8月）

写真	種別	番号	外形(L×W×H)	出力	製造年月	備考
①	人車	-	1260×720×1450	-	2015年8月	こども人車軌道用
②	客車	ホハ8	2180×730×1550	-	2013年11月	キハ3から改造
③	電気機関車	ED51	2400×720×1500	600W	2013年4月	
④	ガソリン動車	キハD11	2670×760×1550	300W	2012年6月	静岡鉄道風
⑤	電車	10	2400×760×1500	600W	2011年8月	上田交通風
⑥	客車	ホハ7	2420×735×1500	-	2009年12月	
⑦	客車	201	1180×690×1540	-	2008年7月	
⑧	電気機関車	デキ3	1360×705×1540	270W	2006年7月	
⑨	電車	モハ1408	2400×730×1500	220W	2005年5月	秋保電車風
⑩	貨車	ホト71	1800×610×520	-	2004年11月	草軽電鉄風
⑪	客車（付随車）	150	2400×700×1500	-	2004年7月	
⑫	電気機関車	デキ12	1200×600×1500	232W	2004年1月	草軽電鉄風
⑬	客車	301	1220×700×1450	-	2001年12月	
⑭	蒸気機関車	8	1400×520×1470	0.2馬力	2000年11月	
⑮	バッテリー機関車	7	1100×520×1460	116W	2000年5月	蒸気機関車型
⑯	バッテリー機関車	2	960×470×670	100W	1997年5月	
⑰	台車	16	850×460×710	-	1996年7月	

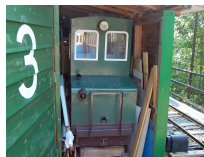
2015年8月に『こども人車軌道』が開業しました。

昭和3年まで宮城県で営業していた松山人車軌道がモデルですが、車両の入り口が狭いのでこどもしか乗れません。乗り込める方は大人でも乗車OKです。スピードの出しすぎは危険です。ゆっくり押してお楽しみください。

- ① 人車（無番） ② 客車（ホハ8） ③ 電気機関車（ED51） ④ ガソリン動車（キハD11） ⑤ 電車（10） ⑥ 客車（ホハ7）



- ⑦ 客車（201） ⑧ 電気機関車（デキ3） ⑨ 電車（モハ1408）



- ⑩ 貨車（ホト71）



- ⑪ 客車（150）



- ⑫ 電気機関車（デキ12）



- ⑭ 蒸気機関車（8）



- ⑮ バッテリー機関車（7）



- ⑬ 客車（301）



- ⑯ バッテリー機関車（2）



- ⑰ 台車（16）



■人車軌道（じんしゃきどう）

明治の終りころから大正にかけて、小さな客車を人が押して運行する鉄道がありました。登り坂で乗客が押すのを手伝われたというエピソードも残っています。輸送力が小さいため他の交通機関が発達するに伴い、昭和のはじめには姿を消していきました。関東・東北地方に多く、西日本にはほとんどなかったようです。

小田原と熱海を結んでいた豆相(ずそう)人車鉄道や、寅さんで有名な葛飾柴又の帝釈(たいしゃく)人車軌道がよく知られています。

写真はこども人車軌道車両のモデルである松山人車軌道の 実物車両で、さいたま市の鉄道博物館に展示されています。

9月から10月にかけて宮城県大崎市松山ではコスモス祭りが開催され、実物大のレプリカ人車が約200mの軌道を走ります。

